

むなかたかもんのはか  
宗像掃部墓

南立石本町 天満神社

市指定有形文化財（建造物）

昭和 47 年 5 月 20 日指定

天満神社境内にある五輪塔及び石殿が、慶長 5 年（1600）9 月の石垣原合戦で戦死した大友方の武将宗像掃部の墓として比定されている。この墓は明治時代まで海雲寺の隣接地にあったが、学校建設のため他所に移築され管理されてきた。平成 23 年に県道拡幅のため再度移転となり、天満神社境内に移設された。

基壇上の右から 3 基目の石殿を掃部の墓に比定して祭っているが、五輪塔とする説もある。

現在の墓所の隣接地には、石垣原合戦の際に大友義統が本陣を敷いた大友本陣跡があり顕彰碑が建っている。西方 300m には宗像掃部が陣を敷いた御堂原の陣跡が存在する。



（小玉 洋美）